※令和８年度以降入学生用

学校番号	2001

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代文学講読	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選文学国語　（三省堂）						
副教材等	・適切な文を書くための文構造確認ノート（数研出版） ・シグマベスト　リテラ速読レッスン　文学 vol.2　改訂版（文英堂） ・『即戦ゼミ入試頻出新国語問題総演習〔四訂版〕』 ・『完成　日本文学史ノート〈三訂増補版〉』 ・『プレミアムカラー　国語便覧　改訂版』（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
・「書くこと」「読むこと」の場面を設け、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

2　学習の到達目標

(a) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化や文学作品に対する理解を深めることができるようにする。
（b）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（c）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会にかかわったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和８年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	随想・評論 ［教材］ 『夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について』	A:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b:[読]において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c:筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
	小説 ［教材］ 『神様』	a:文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景を踏まえ作品の解釈を深めている。 c:日常を超えた設定の効果について考察し、これまでの学習を生かして考えようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
	小説 ［教材］ 『少年という名前のメカ』	a・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b・「読」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c・登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
	随想・評論 ［教材］ 『小説はどう読めばいいのか？ －太宰治「斜陽」の語り口』	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b:「読」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 C:実際の文学作品も併せて読み味わうことで、表現の工夫に気づき、情景描写をはじめとした表現を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
	小説 ［教材］ 『鞄』	a;文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化特質について理解を深めている。 b:「読」文章の構成や展開、作品を象徴するものの表現の方法をふまえ、解釈の多様性について考察している。 c:作品のもつ寓意性や、その表現方法の特徴について考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
二学期	詩 ［教材］ 『永訣の朝』	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b:「読」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察

※令和８年度以降入学生用

	小説 ［教材］ 『こころ』	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b:「読」において、文学作品をとおして、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c:作品の持つ時代背景をふまえ、普遍的な人間性や筆者がもつ価値観について自分の考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
二学期	小説 ［教材］ 『檸檬』	a:文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b:「読」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c:登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴や効果をふまえて、作品を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
	随想・評論 ［教材］ 『「雪国」の謎 ―夜の底とは何か』	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b:「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、などを的確にとらえている。 c:筆者の主張をふまえ、広い視野で文学作品や言語文化を理解しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
	小説 ［教材］ 『靴の話』	a:言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b[　書　]:作品の内容や解釈を踏まえ、言葉などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
三学期	小説 ［教材］ 『舞姫』	a:　人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b:語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している c:時代背景や海外の文化を知り、日本の伝統的な価値観やものの見方に気づき。作品を読み味わおうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間